

## 岩手県支部 委員会・研究会 活動報告

活動名	第3回倫理研修 (CPD 番号 7-11)
主催	公益社団法人日本技術士会東北本部岩手県支部
日時	2026年1月24日(土) 13:30~15:00
場所	エスポワールいわて 1階 イベントホール
参加人数等	20人

### 活動内容

#### 【研修の概要】

(公社)日本技術士会東北本部岩手県支部(以下「県支部」という。)では、技術士倫理綱領を遵守し、品位の向上と技術の研鑽を目的として、第3回倫理研修を開催し、20人が参加した。

本研修では、はじめに、県支部の平井公康氏から、岩手県に36年、その後、民間の建設会社に10年勤務した経験を基に、「公務員・建設業のそれぞれの立場を経験して感じたこと」について講演いただいた後、参加者が3グループに分かれ、「DXとAIの現状と課題について」をテーマとして、ブレインストーミングを活用したグループディスカッションを行った。

#### 【平井氏の講演の概要】

○発注者・施工者・コンサルタントが同じ目意識を共有し、技術力を結集し、円滑なコミュニケーションを図りながら仕事に取り組むことが不可欠。

○人口減少や少子高齢化により、技術者を含めた人材不足が顕著。DX時代となり、これまでと異なる対応が求められる中、良質な社会資本を整備・管理するためには、発注者・施工者・コンサルタントの三者による総力戦で取り組む必要性がますます高まっている。

○最終目的は、良質で適正な価格での社会資本の整備・管理の実現である。

○技術士会は、この三者がコミュニケーションを図る機会・場としての役割もあり、効果的に活用すべきである。



平井氏の講演



グループディスカッションの状況

#### 【グループディスカッションの概要】

○テーマ：DXとAIの現状と課題について

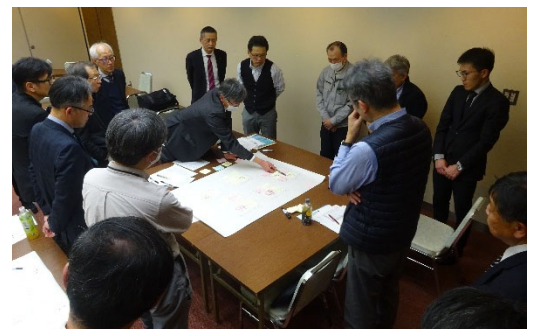
○主な意見

(DXについて)

- ・ BIMが普及していない。
- ・ ペーパーレス化や書類の電子化などできるところから始めるべき。

(AIについて)

- ・ 労働効率のために使用されているが間違いも多い。
- ・ 無法地帯で責任の所在が不明確。
- ・ 情報漏洩や過度な依存が課題。



グループ発表の状況

(技術副委員長 熊谷 記)